大学・高専機能強化支援事業
（学部再編等による特定成長分野への転換等に係る支援）【支援１】
事業概要

令和5年7月時点

１.基本情報

選定年度	令和5年度	学校コード	F127310107938
大学名	桃山学院大学	設置区分	私立
学校種	大学	都道府県	大阪府
大学全体の総収容定員数	6,560 名	※令和5年5月1日時点	
学部学科 組織構成	国際教養学部（英語・国際文化学科）、社会学部（社会学科、ソーシャルデザイン学科）、法学部（法律学科）、経済学部（経済学科）、経営学部（経営学科）、ビジネスデザイン学部（ビジネスデザイン学科）		

２.事業概要

デジタル技術や脱炭素化などの成長分野に関する専門性とまちづくりや環境、土木といった**地域の課題解決に貢献できる力**を併せ持ち、**地域社会でDXやGXを推進して持続可能な地域共生社会を担う人材を育成する**とともに**学部の教育・研究の成果により地域のサステナビリティを推進することを**目的に、入学定員160名、収容定員640名からなる工学部地域連携DX学科（仮称）を令和8年度に開設予定である。この学部では、**自然科学と人文・社会科学を融合**させ、工学系科目だけでなく、経済学、社会学など、本学既設学部が開設する豊富な人文・社会科学系科目も履修できる**学際的なカリキュラム**が特色である。授業では、環境、まちづくり、教育、福祉、食料問題など、**地域の社会課題を題材**として、**最新の工学技術の活用方法について、実践を通じて学ぶ**。また、**イノベーションコモンズ（共創拠点）**となる新校舎を建設し、実験・実習や**社会実装等に適した教育研究施設**を整備することで、**地域の課題解決に実現力を持つ**人材を養成する教育環境を構築する。

３.本事業で新たに設置等を行う組織

改組予定年度	令和8年度					
認可申請・届出予定	令和6年度	※既に申請・届出している場合はその年度を記入				
改組内容	学部の新設					
設置等組織名	工学部地域連携DX学科（仮称）					
設置等組織の学位分野	工学関係					
当該学部等の所在地	大阪府和泉市					
入学定員	160 名					
収容定員	640 名					
入学定員の増加数	160 名					
他学部等の入学定員の減少数	160 名					

※学部・学科を新設する計画である場合は、当該学部等の所在地欄は予定所在地を記入。

※入学定員には編入学定員を含む。

令和５年度選定　支援１　　桃山学院大学

＜基本情報＞
改組予定年度：令和8年度　改組内容：学部の新設　設置等組織名：工学部地域連携DX学科（仮称）　入学定員：160名　所在地：大阪府和泉市

※以下は、2023年7月時点の内容になります。

背景

人材ニーズ

- 大阪府下における**中小企業の情報技術活用のためにDX推進人材が必要。**
- 今後、中小企業も取引先から**組織、製品単位でCO2排出量の削減**を求められる可能性大。
- 地域企業の**人手不足や予算的理由**から**DX／GX推進人材の自前育成が困難。**
- **私大工学部の空白地帯（大阪府南部、奈良、和歌山）**において工学教育充実が必要。

地域の求める人材像
産業社会構造の変化に対応し、地域のサステナビリティを実現できる人材

事前協議によるブラッシュアップ

事業実施委員会の設置
・自治体や地域経済団体、労働局やDX／GX等に専門性を有する企業により構成
・産業界ニーズの反映と事業の分析／評価

本学の取組／現況

- 本学の役割は、脱炭素先行地域への取り組みなど、**地域における脱炭素教育推進役**。
- 社会人向けのデジタル・グリーン分野の**リカレント教育事業**を展開。
- 世界26の国と地域、64の大学・機関との協定を活かし、**先進事例を持つ大学と連携**。
- 2025年、桃山学院教育大学との統合により教育学の拡充。初等中等教育段階との連携を強化。

新学部・コンセプトイメージ

地域社会のサステナビリティを高める

地域との連携による実践的な学び

地域の社会課題解決をテーマとしたPBL

工学部
地域連携DX学科＜仮称＞

＜科目例＞

工学の基礎科目群
数学、物理、化学、生物など、工学の実践の前提となる基礎的な知識の習得

データサイエンス科目群
基礎統計学やデータ収集・処理、プログラミングなどDXを進める上で必須とされるスキルの習得

AIの活用・実践科目群
AIの概念的な理解と、ビジネスにおけるその活用方法など実践的な知識・スキルの習得

グリーン関連科目群
ビジネスに持続可能性を取り入れるための、脱炭素等の技術的な側面に係る知識・スキルの習得

デジタル・グリーン分野の最新技術と先行事例を踏まえて学びを常にアップデート

自然科学と人文・社会学が融合したカリキュラムによる「総合知」の体得

既設学部の豊富な人文・社会科学系科目を履修可能

ビジネスデザイン学部
ビジネスデザイン学科

社会学部
社会学科/ソーシャルデザイン学科

経済学部
経済学科

経営学部
経営学科

国際教養学部
英語・国際文化学科

法学部
法律学科

事業目標

実践的な学びにより地域のサステナビリティを推進

- 地域と連携した**課題解決を題材としたPBL教育**を実施し、その成果を地域に還元。
- **PBLのテーマにはDX／GXを**据え、最終年次には、それまでに学んできた知識・スキルを実践に移す「卒業研究」を正課として実施。
- **地域企業・自治体で実際にDX／GXに取り組むリーダー等に授業や講演などの協力を要請し、**学びと社会の繋がりを学生に伝え、地域社会への愛着を醸成。

地域への専門人材の還元

主に以下の就職先を想定し、専門人材を地域社会に還元する。またカリキュラムは**「JABEE」の認定を得て、出口の質保証**を行う計画。

デジタル人材
（組織のデジタル化を加速し課題解決を主導）
想定するキャリア：地方自治体、事業会社IT部門、ITベンダー、ITベンチャー、ITコンサル 等

グリーン人材
（持続可能な開発とビジネスの両立を推進）
想定するキャリア：地方自治体、事業会社CSR部門、NGO・NPO、国際機関 等

桃山学院将来構想「パーパス」の体現

「私たちは、キリスト教精神に基づく教育を通じて、社会課題の解決を目指す高い志と奉仕の心を持った人を育て、持続可能な地域共生社会を実現します。」

持続可能で共創を促す教育研究環境の構築

実践的な学びの発展
STEAM教育促進、PBLの深化 等

新棟・イノベーションコモンズ（共創拠点）の新設と実務家教員の充実
実験・実習や社会実装等に適した教育研究施設と人材の整備

寄附金・受託研究費の獲得
地域産業の振興や新産業の創出に資する